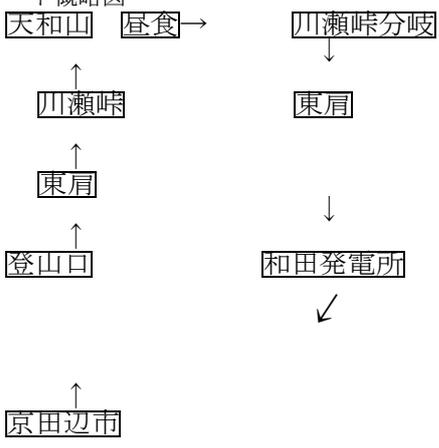


5月20日 天光山

中田 繁男

山名	例会：天光山	山行名	5月例会		
ルート	関西電力和田発電所→登山口→東肩→川瀬峠分岐点→天光山→川瀬峠分岐点→東肩→登山口→関西電力和田発電所				
山行日	2023年5月20日(日)	天候	曇りのち晴れ		
参加者	リーダー：中田繁男 川田弘、川田真理、岡本純子 サブリーダー：木田修司 計5名				
ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
京田辺市	集 発	6：30 6：40	天光山	着 発	11：36
関西電力 和田発電所	着 発	8：45 8：55	昼食	着 発	12：25
登山口	着 発	9：00	川瀬峠	着 発	13：10 13：12
東肩	着 発	10：45	登山口	着 発	14：41
川瀬峠	着 発	11：01 11：04		着 発	
山行報告					
<p>天気予報は前日雨ふりから一転して晴れてきました。気温も昨日より少し高めの朝に安堵してビッアップして合流した。例会が2件と重なり参加者はわずかですが少数精鋭ぞろいとなりスタートです。吉野に入るとだんだん雲が架かり始めで来ました。大峰山系の山並み山頂部も雲が覆い始めてます。登山口の和田発電所はすぐに分かりすぐそばの登山口から登り始めた。朝方まで雨が降っていたらしく足元が濡れて滑りやすい。登山コースには高圧線の鉄塔が目印で最初の鉄塔に着いた。更に急登を進んで2番目の鉄塔、3番目の鉄塔と登りばかりが続く山道に若い皆さんがバテずにしっかり歩いて頼もしい。樹林帯のなか「てんなやまから・・・たぬきがおってさ～♪」それらしき動物は見当たらないが、ガスがかかり薄くもやっている中に山ツツジが咲き誇るのが印象的でした。マイナーな山のせいか登山者の足跡は殆ど確認できず、川瀬峠分岐点で反対方向に行きかけて、YAMAPに何度も助けられてアップダウンを繰り返しやっと山頂に到着して。晴れていれば大峰山の高峰と対峙する山ですから、展望の素早しさを味わう予定がガスで何も見えない。天光山は1285mあり、高低差914m、6.3km、5時間42分の行程で、例会案内の体力★は誤りで★★くらいの急登、急坂を下山するコースでした。これからの夏山登山の良い訓練になったと思います。</p> <p>帰り道では天川村温泉「天の川温泉センター」で一汗かいての御帰還でした。</p>					
ヒヤリハット なし					

